

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1204.83	2021/4/19
High	1252.50	2021/4/23
Low	1185.50	2021/4/20
Close	1232.00	2021/4/23

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4214.00	2021/4/19
High	4329.00	2021/4/23
Low	4114.00	2021/4/21
Close	4274.00	2021/4/23

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2773.00	2021/4/19
High	2926.00	2021/4/23
Low	2727.00	2021/4/20
Close	2860.00	2021/4/23

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9305.00	2021/4/19
High	9755.00	2021/4/23
Low	9209.00	2021/4/21
Close	9721.00	2021/4/23



ニュースエクスプレス

プラチナで陶器を彩る

プラチナを使って陶器を彩る技法で知られる陶芸家・山本一洋さんの展示会が松江市で開かれている。

純度の高いプラチナをほどこした、まるで宝石のような作品。長崎県生まれの陶芸家、山本一洋さんは伊万里焼の伝統技法を守りつつ、プラチナ特有の光沢を生かした作品を生み出し、国内外で高い評価を得ている。

山本さんの作品は、焼き上げた陶器に、液状のプラチナで模様を描いていて、その繊細な技法は、「セラミックの宝石」とも呼ばれている。こちらの飾り壺は、縁起がよいとされる吉祥文様の「ザクロ」や「桃」などが描かれていて、子孫繁栄や長寿の願いが込められている。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/124cd699ad6d243ebc3cbf030fe884edc85bd8fb>

世界初のブロックチェーン対応貴金属精錬所、ドバイにオープン計画

世界でも代表的なフリーゾーンであるドバイ・マルチ・コモディティーズ・センター（DMCC）とコモディティ取引を管轄するドバイ政府機関は、ブロックチェーン技術を利用し、湾岸協力理事会（GCC）加盟国にまたがる最大の貴金属精錬所及び保管倉庫を設立すると発表した。

ゴールド、シルバー、プラチナ、パラジウム、ロジウムを含む貴金属の精錬及び保管を行い、全てをgoldexchange.com上でトークンを使って管理する。

これら金融資産は安全性が保証された取引プラットフォームであるGold Exchange DMCCを通じ、GoldCoin、SilverCoin、PlatinumCoin、PalladiumCoin、RhodiumCoinといったステーブルコインで取引ができる。

「我々の商品を購入あるいは保管庫を利用する顧客は全ての情報をブロックチェーン上で照合することができる。2025年までにはどの貴金属精錬所、保管倉庫もブロックチェーンを利用することになり、我々はその先鞭をつけている。」DMCCのExecutive Chairman であり CEO であるBin Sulayemは2021年2月にこう述べている。

DMCCは2020年に、中国政府が支援するインキュベータの一つで科学・テクノロジー・教育にまたがるエコシステムの構築で先端をいくInnowayと契約を結び、アラブ首長国連邦に新しい革新の波を迎え入れている。

<https://www.wam.ae/en/details/1395302928623>

アングロ・アメリカン・プラチナム- 3月31日付第1四半期の生産レポート

要約:

- 安全操業 -2021年第1四半期は操業に関わる死亡事故ゼロ。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の第2波の影響があったにもかかわらず、PGM総生産量（5E+AU < プラチナ、パラジウム、ロジウム、ルテニウム、イリジウム > とゴールド）は、前年同期比7% 増加し29.0トン。
- 自社管理鉱山のPGM生産は、モガラクエナ鉱山の17%増を含む、6%の増加となり、16.8トン。
- ジョイント操業によるPGM生産(採掘と鉱石の購入)は6%増加し5.7トン。
- 加工設備が通常操業に戻り、ACP転炉の製錬量が予想以上に回復したことで、精錬PGM生産(自社生産)は、59%増加して27.6トン。
- PGMの販売量(トレーディングによる販売以外)は66%増加して32.1トン。需要に応えるためにマイナーメタルが精錬在庫から生産されたことで販売が増加した。
- 通年予測は変わらず、PGM生産は119.1トンから130.4トン、精錬PGM生産は130.4トンから141.7トン。

<https://www.angloamerican.com/media/press-releases/2021/22-04-2021>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- 2021年の自動車のプラチナ需要は25%増加し、コロナ禍以前より5%多い300万オンス（85トン）に迫ると期待されている。予測では今年の普通乗用車生産台数がコロナ禍以前から約110万台減り、大型車の生産台数も昨年より1%少ないとされているにもかかわらず、自動車のプラチナ需要は2018年以来最も多くなるという。詳プラチナ豆知識「浄化触媒装置のプラチナ」（2021年4月24日）をご覧ください。

https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC_60seconds_PlatinumLoadings_04212021_JA.pdf



@wpicjapan

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。